



# TANPOPO

**松山英樹プロ** 2010年卒  
第32期生

## マスターズ (2・3面) 日本人初制覇!!



## 県体 6団体8個人優勝!!

(6・7面)



## 漫画部まんが甲子園本選出場!

第30回まんが甲子園の予選会が6月18日に行われ、漫画部が本選大会に出場することが決まりました。本選大会に出場するのは5回目となります。本選大会は8月6日から8日までオンラインで開催されます。



## 海外姉妹校からのメッセージ

Dear Mr. Yoshida  
As I watched the final two rounds of the Masters-I was glued to the TV and was sending only positive thoughts to Meitoku alumni Hideki Matsuyama.  
His winning the Masters was amazing. It was not only a personal victory for him but it also was a celebration of Japan and its history and culture.  
When we first met and established a cultural-educational connection (Meitoku-Dakota) -I recognized your passion and commitment to International-Global understanding based on education and the sharing of culture. As well-your commitment was to not only academic excellence but also to the creation of opportunities for your students, as future citizens, to challenge themselves in the arts and in athletics.  
Over the years, your students have learned those lessons and watching Hideki excel under pressure and then accept the victory (humbly and with grace) was a reflection on some of the human and athletic lessons he learned at Meitoku.  
You and your staff should be proud of the achievement of Hideki's Masters Victory as it is a reflection of your school's values and it's commitment to every student's pursuit of both personal excellence but also to the "common good".  
Stay Well and Stay Safe!

Wayne Ruff

親愛なる吉田塾長  
マスターズの最後の2ラウンドを見て、私はテレビに釘付けになり、明徳の卒業生である松山英樹選手にいい結果ができるように祈っていました。  
彼のマスターズ優勝は素晴らしい功績です。彼の優勝は個人的な勝利だけでなく、日本にとって歴史的快挙となったことを心よりお祝い申し上げます。  
私は明徳とダコタカレッジの姉妹校提携をした時、教育と文化の共有に基づく国際グローバル理解へのあなたの強い情熱と責任感を感じました。また学業への取り組みだけでなく、芸術とスポーツを通し未来を担う学生達に、自分自身に挑戦する「行」の機会を与えたいというあなたの熱意を強く感じました。  
入学以来、明徳の生徒達は「行」を学んできました。英樹選手はプレッシャーをものともせず、勝利を謙虚にそして優雅に掴み取りました。これは彼が明徳で学んだ人間性とクラブ活動での鍛錬の賜物だと思います。  
貴校の皆さんは、英樹選手のマスターズビクトリーの達成を誇りに思っていることでしょう。これは、まさにすべての生徒が個人力を伸ばし、「他への感謝の心」を育む貴校の教育像そのものです。  
お元気で、お体にご留意ください。

ウェインラフ(1990年、カナダのダコタカレッジと姉妹校提携をした時の校長先生)

I hope everyone is well at Meitoku.  
I watched The Masters this weekend (of course), and that was some of the best golf I have ever seen. Hideki was awesome!! His game on Saturday was actually unbelievable, it was so good. I was so happy to see him win. He is such a good player, and in spite of all his talent, he still seems like such a quiet and humble person. You can't help but cheer for him, and Meitoku should be very proud.  
Ten years ago when he won the amateur at Augusta, I can remember driving some students to Polo Park. On the way I mentioned that there was a Japanese golfer who was playing very well, and they said, "Oh, yeah. Hideki. He's our classmate." I didn't know he was a Meitoku student at that time, and I actually thought they were joking. But they all insisted he was their friend, and even then, they spoke very highly of him. Needless to say I have followed him week by week ever since, and I can't begin to tell you how exciting this is.  
Please offer my congratulations to Keiichi, Hiroaki and all of his former teachers. What an outstanding accomplishment!  
I trust everything is going as well as it can at this point, and everyone is staying safe .....  
Kind Regards (and take care),  
Del Holmes

明徳の皆さん、お元気にお過ごしのことと思います。  
私は今週末、もちろんマスターズを見ていました。それは、私が今まで見た中で最高のゴルフでした。松山英樹選手最高でした!土曜日の彼の試合は実に信じられないほど素晴らしいものでした。彼の勝利の瞬間が見られて本当に嬉しく思います。英樹選手は大変優秀な選手であり、才能に奢らず、とても静かで謙虚な選手のようなです。誰もが彼を応援せずにはいられないでしょう。そして明徳の皆さんは彼をさぞ誇りに思っていることでしょう。  
10年前に彼がオーガスタでベストアマを獲得したとき、私は留学中の何人かの明徳生をボロパークに運転して行ったことを覚えています。途中、日本人ゴルファーにとってもいい選手がいると言ったところ、「ええ、それは松山英樹選手でしょ。彼は私たちの先輩なんですよ。」と返答がありました。当時、私は英樹選手が明徳の学生だとは知らなかったもので、彼らが冗談を言っていると思いました。しかし、彼らは皆、本当だとい、英樹選手を高く評価していました。言うまでもなく、私はそれ以来ずっと毎週彼を応援してきました。この優勝が、私にとってどれほど嬉しいことであるかを伝えることができません。  
皆一、宏明、そして関わった先生方、おめでとうございませう。なんと素晴らしい功績でしょう。  
皆様の一層のご活躍をお祈り申し上げます。

デルホームズ(初代カナダ姉妹校留学担当)

Masters Champion! Congratulations! Wonderful news. Everyone at Meitoku must be excited.  
AI McDermid

マスターズチャンピオン!おめでとうございます!明徳の皆さんも大興奮ですね。  
アル マクダーミッド (カナダ、ウィニペグ、ルイリエル教育委員会国際部副部長)

Congratulations to Hideki Matsuyama who won the Masters tournament in Georgia this evening.  
What an honour for Meitoku.  
Karen

松山英樹選手、マスターズ優勝おめでとうございます!  
明徳の誇りですね。  
カレン(カナダ、ウィニペグ、ルイリエル教育委員会国際部)

ひでき選手!ばんざい!  
Jen Buddee  
ジェン パディー(オーストラリア、NSW州、イマニュエルアングリカンカレッジ国際部部長、日本語教諭)

## 松山 マスターズ制覇



### 後輩からのメッセージ

4月13日付・高知新聞

ゴルフ部 松岡 翔真 (6年C組)  
優勝の瞬間すごかった。松山選手に憧れて入学してきたので、その先輩が世界最高峰の舞台で優勝する姿を見て大きな刺激を受けました。もっと上を目指して頑張ろうという気持ちにさせていただきました。

ゴルフ部 市川 琴雪 (6年C組)  
世界のトップと言える大会で優勝して、それが同じ練習環境から出た卒業生なのでものすごくうれし、尊敬しています。

ゴルフ部 中村 巴南 (3年2組)  
私が明徳に入った理由は、地元が松山英樹選手と同じ愛媛県出身で憧れていたからです。今回の優勝で周りの人だけでなく全ての人々が喜んでいて私もそんな存在になりたいと思い、憧れがより一層強くなりました。

高校野球部 米崎 薫暉 (6年B組)  
違うスポーツですが同じ高校の先輩がこのような偉業を成し遂げたことは本当にすごいことでも嬉しかったです。

バレーボール部 鈴江 こまち (6年C組)  
自分と同じ高校の人が世界で1位になるなんて。自分と同じように明徳で生活していた人だということに親近感も湧いて自分も頑張ろうという気持ちになりました。

# 松山英樹先輩 マスターズ優勝!!

2021年4月  
松山英樹(2010年卒 第32期生)プロが  
男子ゴルフメジャー マスターズ・トーナメントで  
日本人初制覇!!



### 高橋章夫ゴルフ部前監督からのメッセージ



松山選手がマスターズで優勝しましたが今の気持ちは?  
優勝して表彰式が終わってからすぐ、松山から「監督やりました」って電話がかかってきました。「最終日の15番ホールで池に入れた時、日本中の人が心配していたみたいだけど、僕は勝てると思っていたよ」と伝えると、「本当ですか」と嬉しそうに答えてくれましたよ。  
松山に初めて会ったのは小学3年の時だったんだけど、ゴルフはその頃はまだまだでした。でも、その時の目がすごくキラキラしているのがとても印象的だった。その時と同じ目をテレビ越しで見て、今回は純粋に勝つなと感じました。

明徳ではどんなことを教えてきましたか?  
「感謝する」ことを徹底的に指導してきました。まずは明徳で勉強やゴルフをさせてもらっている親に、そして指導者、さらにゴルフ場に対してなど全ての事に「感謝する」ことを部員全員に毎日、毎日言いました。当然全員がそれを理解できているわけではないんですが、ただ、その「感謝する」ということを理解すると「集中する」力に繋がるんです。そうすると自然に一球一球を大切にできるようになります。松山は、本当の意味で全ての人に感謝するということを理解しました。だから強い。「自由にやる」や「やらされている」では絶対に伸びないんです。一つの例として、マスターズで早藤がコースに対して最後に礼をしましたが、これはすでに学生の時からやっていたことなんです。コースに対して感謝をするということが、世界のゴルフファンから見ても素晴らしいことだと思われたわけです。  
彼らは、親への感謝はもちろん、学校に帰って来た時も普通に職員室の先生に会いに行き挨拶をします。また、自分を育ててくれたスカイハイゴルフクラブで必ずラウンドします。自然に感謝の気持ちを行動で表すことができるんです。日本で応援してもらえる選手は日本で、世界で応援してもらえる選手は世界で活躍できる力が備わってきます。  
ゴルフ部の生徒が、「試合に行ってきます」と職員室へ行ったとき、どれだけの先生方が「頑張ってきていいよ」と言ってくれるか、最低限その応援は勝つために必要な力だよとゴルフ部の生徒には言い続けています。  
集中する力は感謝の中から生まれてくるという指導を通して、松山が栄冠をつかんだと言っても過言ではないと思っています。

卓球部 植田 帆夏 (6年中国語)  
まさか身近に世界で優勝する人が現れるとは思っていませんでした。同じ学校の先輩が活躍できることは自分たちも頑張ればもっと強くなれる、人間的にも成長できるということを教えられたように思います。これからももっと頑張っていこうと思いました。

高校サッカー部 林 由斗 (6年B組)  
優勝した瞬間はすごかったです。僕はサッカー部ですが、頂点を目指している姿を見て競技は違いますが努力すれば夢は叶うということを知りました。これからも努力をしていきたいです。

# トピックス

めいとく



## コンピュータ部 ラジオパーソナリティに

RKCラジオで毎週金曜日に放送されている「高校生の放課後らじお部」の5月をコンピュータ部が担当しました。県内の高校生が月替わりで「作って喋ってMCも務める」トーク番組です。第1回は方言について、第2回は松山英樹選手について、第3回は制服について、第4回はコロナが収まったらなどのテーマでトークを繰り広げました。

「最初はどうかと不安に思ったけどとても楽しかった。会話が止まらないようバランスを考えたり、時間配分をしたりすることは難しかったけれどよい経験となった。先生たちからもアドバイスや感想をもらえてうれしかった」と話していました。

5月14日付 高知新聞

## 北川さんの記事、 高知新聞に

高知新聞の「中学校特派員だより」のコーナーに、3年2組の北川七海さんの記事「魅せる太鼓」を発信」が掲載されました。

「先生から『新聞とか大きな所に出してみたら』と勧められて投稿してみました。掲載されたものを見て、明德や和太鼓部の良い宣伝になったんじゃないかと嬉しく思いました。次は本の紹介文を書いて、またこの中学校特派員だよりへ投稿しようと準備をしていることです。」



## タイ・ワチラウッドからの 短期留学生修了式



姉妹校のタイ・ワチラウッド高校から来たアパン・パーキン君とブルピット・タナーウィット君の短期留学修了式が4月23日、理事役員室で行われました。2人は昨年11月に来校し、日本語を勉強したり、バスケットボール部で活動したりするなど、積極的に明德での生活を送りました。

## 姉妹校とZOOMで交流



4月27日に中国の姉妹校大連櫻華高校で日本語を勉強しているクラスと5年中国語コースが、5月12日にはオーストラリアの姉妹校イマニエルアングリカンカレッジと5年英語コースがそれぞれZOOMで交流しました。

中国語コースは、学校の説明や自己紹介を本校の生徒は中国語で、櫻華高校の生徒は日本語で行いました。

英語コースは、英語と日本語を交えながら興味や好きなものなどについて質問し合いました。

どちらもはじめは緊張した様子でしたが、同年代ということもあり共通点が沢山あることに盛り上がりました。

「今後もこのような交流を作りたい」と、生徒たちは口々に話していました。

## 本杉風音先生 聖火ランナー



東京2020オリンピックの聖火が高知にやってきた4月19日、本校職員の本杉風音先生が須崎市の第4ランナーを務めました。本杉先生は、カヌー部の指導をしながら自身もオリンピック出場を目指しています。

## 第一薬科大と高大連携提携



第一薬科大学(福岡市南区)との「高大連携締結式」が4月26日、同大学で行われ、春本校長と都築仁子学長が締結に調印しました。この協定は、相互の教育にかかわる交流・連携を通じて、本校の生徒の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、同大学の求める学生像及び教育内容への理解を深め、かつ高等学校教育・大学教育の活性化を図ることを目的とします。

今後は、同大学教員による感染症対策講演会や出張講義・出張実験の実施、イベントへの参加や教職員間の交流を通じて、継続的に友好な関係を構築することになります。



## 入学式

令和3年度中学・高等学校入学式が4月10日、本校体育館で行われ、300人の新しい仲間を迎えました。

春本宏明校長は式辞で「結果にとらわれず常に全力を尽くして、人のため、自分の目的達成のために自分自身をぶつけてください。一緒に頑張りましょう」と激励。続いて生徒代表の濱本青那さん(6特I)が「明德義塾は学習、スポーツ、異文化理解を通して、人を思い、人と人が寄り添いあって生きていくことの意味を教えてくださいの場所でもあります。清く、正しく、逞しくの精神のもと、踏まれても起き上がる強さを身につけていきましょう」と呼びかけました。

これに応え新入生代表の田畑湖雪さんが「『踏まれても咲いたんぼほの笑顔かな』の意味をしっかりと理解して、仲間たちと助け合って努力していくことをお約束します」と誓いの言葉を述べ、温かい拍手に包まれました。



## 中2、中3 いのちのレッスン

4月28日「いのちのレッスン」が行われ、中学2年生は県立牧野植物園、中学3年生は坂本龍馬記念館へ見学に行きました。

県外からの生徒が多数在籍する本校では、高知の偉人の生涯を通して命の尊さを学ぶことにしています。

たとえば思うような研究ができずとも植物に対する強い情熱を持ち続け、日本の植物分類学の発展に大きな影響を与えた牧野富太郎と、幕末の動乱の中で藩という枠を超え新たな日本を夢見た坂本龍馬についての講話に、生徒たちは聞き入っていました。館内を見学する中で、自分の生き方や将来の目標を見つめる有意義な時間を過ごすことが出来ました。

## 第56回英語劇公演



ウィリアム・シェイクスピア原作「ロミオとジュリエット」の英語劇公演が6月25日、土佐市の「つな一で」で開催されました。

誰もが知っている恋愛悲劇。対立する家柄に生まれて引き裂かれる二人、そして彼らを取り巻く人々を国際演劇部の生徒たちが素晴らしい英語力で熱演してくれました。会場の観客からは大きな拍手が送られていました。

また、今回はコンピュータ部をお願いして、初めてオンライン配信をしました。会場に来られなかった方もリアルタイムで楽しむことが出来たと思います。



## 中学1年生、 高校1年生研修会

中学1年生と高校1年生の研修会が4月28日、堂ノ浦キャンパス食堂で行われました。研修会では春本校長が明德の教育理念や建学の精神、校章の由来などについて分かりやすく話されました。最後には「一刻生涯」時間を無駄にせず、思いやりを持って、努力することを継続してください」とメッセージを送りました。



## 美術部活躍!

5月8日～6月4日、美術部展覧会「虹の始まり」が須崎市の「まちかどギャラリー」で開催されました。コロナの影響もあり、「展覧会をするのは今回が初めて」という生徒ばかりでしたが、みんな一生懸命に作品の制作に取り組みました。

来場したお客さんは、「古民家に飾られている雰囲気がとても良かった」「作品横にあった自己紹介文を読んで温かい気持ちになった」などと話していました。

6月11日～7月9日には、土佐市複合文化施設「つな一で」にて、同展覧会が開催されました。

6月4日まで須崎市の「まちかどギャラリー」で展示されていた作品に加え、須崎市展に出品した作品が追加展示されました。

須崎市展  
洋画の部/特選 6年特進I組 戴 珍妮「他愛のない日常」  
グラフィックデザインの部/特選 5年D組 王 蕾涵「海面」

# 高校県体結果

(敬称略)

## ●相撲

団体優勝  
個人優勝 オドコンバット  
準優勝 奥田史祐  
3位 山下 昇

## ●バスケットボール

優勝

## ●卓球

男子団体 優勝  
女子団体 優勝  
男子シングルス  
優勝 藤元 駿  
準優勝 安江光博

3位 新名亮太  
齊藤秀太

女子シングルス

優勝 白山亜美  
3位 青井さくら  
上澤茉央

男子ダブルス

優勝 藤元駿・加藤公輝  
準優勝 吉本 豊・横部叶愛  
3位 坂本倫太郎・藤崎 樹  
齊藤秀太・梅村友樹

女子ダブルス

優勝 青井さくら・白山亜美  
準優勝 内山智晴・上田紫乃  
3位 上澤依央・上澤茉央

## ●ソフトテニス

男子団体 優勝  
女子団体 3位  
男子個人 優勝 清水雅生・長方浩基  
準優勝 松岡 慧・加藤真輝  
3位 小笠原健斗・佐渡宝来  
女子個人 優勝 土井果音・津野愛郁

## ●野球

優勝

## ●ウエイトリフティング

男子73kg級 優勝 コウ テイシュン

## ●空手

男子団体 準優勝  
男子個人組手 準優勝 仲村翔海

4位 永井悠晟

個人形 準優勝 山下美和人

4位 高野翼彩

女子個人形 4位 貝川遥香

## ●バレー

準優勝

## ●剣道

男子団体 3位  
女子団体 4位  
男子個人 ベスト8 柴田大喜  
女子個人 ベスト8 山田海虹

## ●カヌー

学校対抗 3位

## ●サッカー

ベスト4

## ●柔道

男子団体 予選リーグ敗退  
男子個人 100kg級 3位 山中孝太  
100kg超級 3位 藤原 丞

## ●ソフトボール

準々決勝敗退

## ●バドミントン

男子ダブルス 3回戦敗退  
男子シングルス 1回戦敗退  
女子シングルス 1回戦敗退

## ●硬式テニス

1回戦敗退

## 県体必勝祈願



今年の県体は、メンバー以外の生徒は会場に応援に行くことができませんでした。

そこで5月22日の県体初日に、サッカー部の6年生5人がみんなの代表として鳴無神社へ必勝祈願に行きました。

県体に参加した全てのクラブ名と出場選手名を読み上げてもらい、最後に「一戦必勝 怪我防除」のお札をいただきました。



## 県体壮行式

県体の壮行式が5月21日、本校体育館で行われました。例年は高校生全員が参加していますが、今年はコロナウイルス対策として、出場するクラブのみの参加となりました。吉田塾長は、「優勝できるよう頑張ってください、しかし負けても相手を賞賛し、勝っても感謝の気持ちを忘れずに戦ってきてください」と激励しました。

選手代表のバスケットボール部・千原慧君は、「県体が開催されることに感謝の気持ちを持ち、去年出られなかった先輩の分も一生懸命戦ってきます」と力強く挨拶しました。



第74回高知県高校体育大会が5月22日～6月14日に開催され、明德義塾は多くの競技で好成績を収めました。



## 国盗り物語

(著:司馬遼太郎/新潮文庫)

3年2組 / 岡添 竜之介くん (奈良県出身)

この物語は、前半と後半に分かれており、前半は美濃の蝮と呼ばれた斎藤道山、後半は織田信長の物語です。

この二人に共通するのは、下剋上の世で成り上がり、自分の信頼する息子や家臣の裏切りによって死んだことです。

この物語の面白いところは、合戦だけでなく、裏での謀略なども描かれていることです。歴史が好きの方は是非読んでみてください。



## 幻談・観画談 他三篇

(著:幸田露伴/岩波書店)

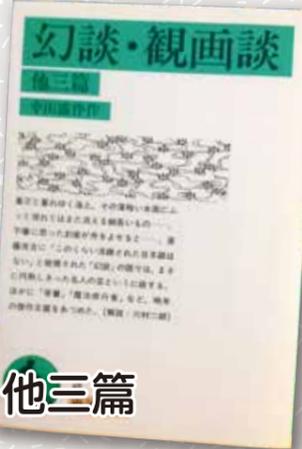
教員 / 梁 鎮輝先生 (中国出身)

最近、大雨の中で原付きに乗って山を駆け抜けることが多くなり、「ザアッ」という音に包まれる時に、私はいつも幸田露伴の「観画談」を思い出す。

大正十四年に発表されたこの作品の主人公は貧しい苦学生で、少少度の過ぎた勉学のために神経衰弱を患った。しばらく心身の保養に努めるが良いという医者の勧告に従い、東京を後にし、霊泉が湧くという奥州の山奥の貧乏寺を訪れる。降りしきる雨の中、その寺で一連の不可思議な体験をした後、主人公の病気がすべて治ったというやや気味の悪い怪談話になっている。

「ザアッ」という音を聴きながら、主人公は「自分の生涯の中のある日に雨が降っているのでは無くて、常住不断の雨が降り通している中に自分の短い生涯がちょっと挿まれているものでもあるように降っている」と思索に耽るようになる。そして、これこそが作品に込められた露伴のメッセージなのかもしれない。

近頃、「自己さがし」ならぬ「自分なくし」という言葉を時々耳にする。「自分は!自分は!」と必死に叫び、激しい感情の起伏に振り回される現代人の私達こそ、「自分なくし」の経験が必要だと、「観画談」を再読する度に思う。



## また、同じ夢を見ていた。

(著:住野よる/双葉文庫)

4年特進 / 田中 拓馬くん (高知県出身)

「人生とは…」が口ぐせの小学生の女の子、小柳奈ノ花。彼女は日々の生活の中で、「南さん」「アバズレさん」「おばあちゃん」の三人の女性から生きていくためのアドバイスを受け、人生とは何かについて考え続けていました。この作品は、登場する3人の女性の正体や、主人公と一緒に人生について考えを巡らせることができるのが魅力です。

僕もこの本を読んで、人と人とのつながりを感じたり、自分なりの人生を考えるきっかけやヒントをもらったりしました。読者も成長させてくれる素晴らしい小説です。

物語が進むにつれて、アドバイスを元に成長していく主人公・奈ノ花や、三人の女性と彼女の関係が明かされていく展開にも引き込まれていきます。全体的に、読んでいてとても落ち着いた気持ちになれます。ぜひ、みなさんも読んでみてください。



## モモ

(著:ミヒヤエル・エンデ/岩波書店)

本校(図書室) 司書 / 尾崎 文恵先生 (高知県出身)

コロナ第4波が猛威を振っている中、新聞でこの本が紹介されていた。

ドイツ作家の児童書「モモ」。ある町に灰色の男たちが現れて、住民に「無駄な時間を節約すれば効率よく生きられる」と言う。信じた理髪店主は1人に1時間かけていた散髪を20分で済まし、客のおしゃべりもやめてしまう。

人々は「よい暮らし」のためと信じて、必死に時間を節約し追い立てられるようせかせかと生活するようになり、人生を楽しむことを忘れてしまいます。灰色の男たちは「時間貯蓄銀行」からやって来た時間泥棒。彼らの目的は人間の時間を盗むこと。

新型コロナウイルスは現代の時間泥棒。私たちの生活から、多くの楽しみを奪った。だが、おうち時間が増え、時間に追われることも減り、時間の真の意味を考える機会を与えてもらった。この物語を読めば、時間に対する考え方が変わってしまうかもしれません。



## スイッチを押すとき

(著:山田悠介/文芸社)

1年1組 / 田畑 湖雪さん (宮城県出身)

みなさんは、目の前で死のうとしている子供を見たらどうしますか? この本では、政府が青少年自殺抑制プロジェクトを立ち上げます。その内容は、子供をストレス環境で過ごさせ、その精神がどうなるか調べることです。選ばれた子供達は、何も知らずに5歳で心臓の手術を受け、5年後に突然親と引き離され、センターへ連れていかれます。そこで子供たちはスイッチを受け取ります。

このスイッチは子供達の命です。押すと一瞬で痛みもなく、心臓が停止します。

子供達は、ストレス環境に耐えられるか、それともスイッチを押してしまうか…主人公の南洋平は、子供達の敵である監視員です。子供達を助けたいと思うものの、見ていることしかできません。しかし転勤をきっかけに行動を起します。この本はとても悲しい話ですが、その中に予想外の事実が待ち構えているドキドキと涙いっぱいです。泣かない人はいないので、ぜひ挑戦して下さい。



## 少年と犬

(著:馳星周/文藝春秋)

4年B組 / 吉田 龍生くん (高知県出身)

僕のお勧めの本は「少年と犬」です。この本は六つのストーリーに分かれていて、傷つき悩む人々と彼らに寄り添う犬を描いた物語です。それぞれの主人公は違っており、そこに出てくる犬は名前が変わっているだけで、六つの物語とも同じ犬です。この物語は、東日本大震災で飼い主を亡くした犬が、コンビニの駐車場にいた所から始まります。

東日本大震災というワードと、それぞれの物語で犬が向いている方向に注目すると、最後に衝撃の事実が判明します。

僕はこの本を通して、人の温かみや犬の素晴らしさ、そしてこれからの人生どう生きていくのかを考えさせられました。

図書室に行く機会があれば、この本を手にとって下さい。



第34回

# わたしのイチオシ!



## 生きてさえいけば

(著:小坂流加/文芸社)

2年1組 / 青野 樹理さん (愛媛県出身)

今回紹介する本は「余命10年」の著者である小坂さんが書いた本です。

この本は、ひとつの手紙をきっかけに動き出す物語です。叔母の病室で宛名の書かれていない手紙を見つけた甥の千景は、「ほんとうの幸」を見つけるために、東京から580キロ離れた大阪までたった一人で届けます。しかし、そこにいたのは、背が高いたけの平凡な男性でした。その男性から読者モデルとして活躍していた叔母の大学時代や、その男性との関係を知りました。そして、叔母が書いていた手紙は、驚きの内容でした。果たして、千景が探していた「ほんとうの幸」は見つけることができたのでしょうか。

この本は「余命10年」とは、また違った世界を描いた物語ですが、生きることの大切さを教えてくれます。みなさんもぜひ読んでみてください。



# .....コロナ対策「学校対応会議」の軌跡4.....

4/14

- 県の感染状況ステージは【警戒】※まんえん防止措置地域への往来は必要最限に(～5/5)
- 今年度の最新の各クラブ活動感染防止対策の提出を要請。
- 徳島、香川への遠征は、感染増加につき来訪も含めて自粛とする。
- 新規入国は見通し立たず。未入国の現地生に対し、ZOOMで授業開始。ホームルームでケアしながら対応。

4/21

- 県の感染状況ステージは【警戒】
- 緊急事態宣言と同様の対応を継続。特に、黙食・手洗い・マスク着用の徹底。
- 県体壮行式について、全校生徒での集会は不可につき、開催の方法を検討するよう指示
- 県外の公式戦は一部許可、練習試合は不許可  
感染防止のクラブ対策を実践するよう要請(特に新入生に対してレクチャー)
- 未入国の生徒に対し、ZOOM授業3展開中
- 国内感染状況から今後県外出張へ行く教員は抗原検査実施の検討。
- 対象地域と適応日数を精査して決定する。

4/28

- 県の感染状況ステージは【警戒】※運動部の大会参加の顧問、生徒に陽性確認
- 運動部の春季大会後に、PCR検査をすと陽性確認。
- 対戦した学校にも念の為に簡易検査の要請あり(県より)。本学で簡易検査実施後、2名の反応あり。校医の内科を受診。
- 簡易検査で反応が出たので保健所へ連絡。4/28に保健所よりその他の生徒のPCR検査を実施検討の連絡あり。
- 4/27より該当の生徒は、研修会館3階へ。
- 4/28寮生と顧問に対し、PCR検査実施。結果は29日。
- 授業は、本日28日まで出席。
- 食事はお弁当形式にし、研修会館で喫食。
- GW中を含む遠征→公式戦を除く他校との練習試合は禁止
- 本校で陽性確認の場合は、それ以降の外での活動を停止とする
- PCR検査の結果が29日につき、4/29の遠征は一部練習試合などはキャンセル。公式戦は許可するが、メンバーのみ等最小限で行くことを要請
- 各クラブ感染対策の徹底を指示
- 寮内の他室訪問禁止
- 換気の徹底
- 留学生のGW中のアクティビティは、本校で陽性が確認された場合は、活動禁止。
- 現在は厳戒態勢と心得、食堂の喫食方法の他、対策に不足がないか各部署でチェックするよう指示

4/29

- GW明けの授業について午前中を検討するよう要請。
- 29日より、朝練・夜練禁止。
- 寮の各フロアの消毒液の設置場所を再度学生に周知させるよう要請
- 4/30休校(運動部の大会での他校の陽性確認の影響と感染経路がはっきりしており、本校でも計4名の陽性の確認。その為、寮施設を含む校内の消毒作業が行われるため休校とする)
- 他校との練習試合は禁止。
- 対面競技の活動内容の変更を指示
- 海外からの問い合わせの対応について検討を要請
- 入校の制限(納入業者などの入校カードがある方は可能)。進路関係などのアボなしの大学、専門学校等は、守衛室で対応可能な場合は対応する

4/30

- 校外練習クラブの活動について変更。ゴルフ→2～3日自粛、カヌー→自粛
- GW中の5/1～5/5は他校との練習試合禁止

5/1

- 保健所より、陽性生徒と同室の4名の濃厚接触者に対して実施のPCR検査の結果、全員陰性と連絡あり
- 濃厚接触者の生徒は5/12まで隔離期間となり、研修会館にて健康観察を継続する。
- 隔離生徒も12日まで継続中の為、5/6～5/14までは午前授業対応。
- 本学の濃厚接触者の隔離期間が終了する相当期間(～5/16)までは、練習試合は禁止、公式戦は許可
- 校外が練習会場のゴルフ・ソフトボール・カヌーは個別に対応協議の上、指示をする
- アルコール消毒の増設、共有施設の消毒実施
- 濃厚接触者はこれ以上ないが、マスク、手洗いなどの感染対策は気を緩めずに続けることを伝えるよう要請(特に留学生には、理解してもらえるように説明すること)

5/6

- 研修会館での健康観察中の生徒の状態は良好
- 陽性生徒2名のうち1名は5/3退院し、宿泊療養施設へ合流
- 宿泊療養施設滞在生徒4名は5/8退院予定につき、寮生は迎えに行き、研修会館で5/11まで隔離。他2名は通学生の為、5/11まで自宅待機
- 5/12から登校するが寮生2名は5/16までは、念のため居室を別にすることを決定
- 大会へは、最少人数で参加することを要請。また、大会ごとに【感染対策】を提出して臨むことを指示

5/12

- 4日までは短縮授業を継続
- 現在の遠征外出規制は、6/4まで継続。それ以降の外出等のガイドラインは、今後の感染状況次第で対応

5/19

- 県の感染状況ステージは【警戒】
- 県体参加選手、引率の抗原検査は、全員陰性

5/26

- 県の感染状況ステージは【特別警戒】
- 全校生徒の健康状況は良好の状態
- 6/4までとしていた遠征・外出禁止の措置を、【特別警戒】へ引き上げにつき、6/8まで延長することを決定
- 【特別警戒】に引き上げられたため、各部署ごとに換気等の感染対策項目を再度チェックするよう指示

6/2

- 遠征、外出の対応は現状維持

6/9

- 公式戦出場の際感染対策フォーマット提出。移動時、喫食時、滞在時、大会会場の対策方法を明記し、実践することを指示

6/16

- 本校の教職員、生徒への早期のワクチン接種並びに校内接種を高知県知事・須崎市長・土佐市長を中心に陳情。各部署連携して、早期の接種実現に向け始動。

6/23

- 土佐市、須崎市以外の市町村へ優先接種要請
- スケジュールに関して、第1回目を7月中旬に実施予定
- 23日、土佐市10名陽性。通学生に対し、2重の警戒を要請するよう指示



## あの頃は 明德生だった

今回は学生時代明德生だった  
先生5人を紹介します。  
ヒントは30代です。  
みなさん、分かりますか？

あ  
か  
い  
ぶ  
Meitoku



＜答＞ ①大原悠平先生(3年1組担任/中学野球部監督/26期生) ②中村哲大先生(バスケットボール部監督/26期生) ③川崎新也先生(6年A組担任/高校野球部コーチ/26期生) ④森澤成光先生(ゴルフ部部长/28期生) ⑤山本泰裕先生(相撲部監督/30期生)

# 新しい先生、 紹介します。

今年度も新しい先生が仲間入り。アンケートに答えていただく形で、自己紹介をお願いしました。

- ①宝くじで1等が当たったら何に使う?
- ②好きな本や映画は何?
- ③旅行するならどこに行きたい?
- ④最後の晚餐に食べたいものは?
- ⑤自身の中学・高校時代の思い出
- ⑥明德生にひと言

## アンケート 項目

### 大関 千弘 先生 (社会科 / 京都府出身)

- ①かっこよくてみんなが振り返るような車が欲しいです。
- ②漫画が好きです。特にナルトは人生の教科書です!
- ③アメリカ



- アメリカンフットボールを生で観戦したい!
- ④バーンバーグディッシュの300gご飯大盛です!
- ⑤中学は地元の公立学校に通っていましたが、失敗の連続で色々な人に迷惑をかけていたように思います。高校は男子校に通っていたので毎日が刺激的でした (色々な意味で) 特に体育祭では男と男のプライドがぶつかり合う戦争でした。
- ⑥僕は明德に来させていだいて、「一刻生涯」という言葉が大好きになりました。言葉通りにみんなとも日々の生活を一生懸命生きていきたいです! よろしくお祈りします。

### 福田 和生 先生 (数学科 / 合気道部 / 高知県出身)

- ①コロナがおさまってから、旅行の資金に使う。
- ②映画 新海誠監督の作品



- 理由は、映像美がすごくきれいだから。
- ③宮崎県
- 理由は、高千穂溪谷に行ってみたくから。
- ④三つ星もしくは五つ星レストランのフルコース
- ⑤高校時代は、勉強と部活ばかりでした (笑)
- ⑥勉強はいつか自分のために役立つので、今一生懸命勉強しておきましょう。

### 土屋 友可子 先生 (英語科 / 弓道部 / 広島県出身)

- ①自前の弓道場を建てるか日本全国温泉巡りをしたいです。



- ②アメリカの絵本作家、エドワード・ゴーリーの作品です。一言でいえば「絵本らしからぬ絵本」。ミステリアスでホラーチックな雰囲気がとても素敵です。
- ③埼玉県に行きたいです。ムーミンバレーパークに行ってお癒されたいので!
- ④特上の海鮮料理を頂きたいです。
- ⑤明德と同じく中高一貫の学校に通っていましたが、学校が山の上にあつたので毎日15分かけて登校と言う名の登山をしていました。よくもまあ6年間歩いたものです。でも明德義塾の坂の方がもっと凄かった。
- ⑥弓道の教えの言葉を一つ送ります。「発して中 (あた) らざる時は、即ち己に勝つものを怨みず。反ってこれを己に求むるのみ」。自分が矢を放つて的に当たらないとき、自分に勝る人を恨んだり妬んだりするのはなく、自分自身に的中を得られなかった理由を求め、反省しなければならぬ、という意味です。勉強も部活も、両方に通じる言葉だと思います。

### 山中 幸誠 先生 (国際総務部 / 高知県出身)

- ①ヴィンテージカー (旧車) を買います。残りは貯金します。
- ②羽生義治の『決断力』



- 将棋の本ですが、将棋の世界で色々な局面に居合わせてきた方の話は説得力がありました。
- ③日本国内でしたら夏の北海道です、涼しくて食べ物が美味しそうなので。
- ④母親の手料理です、子供の頃好きだった卵焼きと味噌汁。
- ⑤高校時代、駅の近くのお好み焼き屋で、皆で馬鹿話をしながら食べたお好み焼きが美味しかったこととか、文化祭でいい意味で大暴れしたことです。あの頃にもう一度帰りたい。
- ⑥国際総務でバスの担当をしています、バス利用で困った事などあれば気軽に声をかけてくださいね。

### 宮崎 亮介 先生 (理科 / 自然科学部 / 高知県出身)

- ①毎日の衣食住に使う。
- ② [アニメ作品] 魔法騎士レイアース…男の子まじりな (気持ち強い) ヒロインが次々と魔物に對峙し、そこから生まれる新しい友情展開が、人生のロマンを誘うから。
- ③大分県…別府は温泉街、湯布院は広大な緑が広がり、一種の心のオアシスを感じさせるから。
- ④鯛茶漬 (とにかく、お茶漬)
- ⑤遅刻をせず、提出物の期限を守り続けたこと。
- ⑥一分一秒、米一粒を大切に走り続けよう!



### 笠井 雄太 先生 (総務部 / 中学野球部 / 石川県出身)

- ①車や腕時計を買い替えたいです。残りは貯金します。
- ②スポーツジャーナリストの田尻賢誉さんの書かれた本をよく読みます。
- また、女優の新垣結衣さんのファンなので、出演している映画はすぐ観に行きます。
- ③沖縄です。高校の修学旅行が楽しかったので、今度は自己流で色々な所に行きたいです。
- ④地元のすし屋で腹一杯食べたいです。
- ⑤野球部です。室内練習場での冬練習が一番思い出に残っています。
- ⑥明德で出来た人との繋がりを一生大切に出来るように、思いやりを持った生活を送ってください。



### 六倉 葵 先生 (寮務部 / 高知県出身)

- ①家族の欲しい物を買います。
- ②やり抜く力-GURIT
- 凄い成績や成果を出す人間を見て、大半の人は「才能、天才」と言いますよね。そんな羨む気持ちが間違っていると思わされる本です。考え方を教えてくれるのでオススメです。
- ③スペイン行きたいです! スペインでサッカー見てパエリア食べて、ゆっくりしたいですね (笑)
- ④世界で一番うまい焼肉!
- ⑤中学の頃は明德の職員室で毎日怒られていたのが思い出ですね。高校の頃は目標であった高校サッカー選手権ベスト8を達成できた事と、小松監督にサッカーと人間性を指導して頂けたのも思い出です。
- ⑥人生に一回しかない中学・高校生活を無駄にしないで欲しいです。やり直しの利かない一度きりの時間をサボったり、楽しむ事ばかりに使うんじゃないで、自分を高める時間に使って欲しいです。

